



BEA WebLogic Portal

ポータル サンプル
訪問者および管理者

リリース 7.0
マニュアルの日付 : 2002 年 6 月 28 日

著作権

Copyright © 2002 BEA Systems, Inc. All Rights Reserved.

限定的権利条項

本ソフトウェアおよびマニュアルは、BEA Systems, Inc. 又は日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社（以下、「BEA」といいます）の使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができ、同契約の条項通りにのみ使用またはコピーすることができます。同契約で明示的に許可されている以外の方法で同ソフトウェアをコピーすることは法律に違反します。このマニュアルの一部または全部を、BEA からの書面による事前の同意なしに、複製、複製、翻訳、あるいはいかなる電子媒体または機械可読形式への変換も行うことはできません。

米国政府による使用、複製もしくは開示は、BEA の使用許諾契約、および FAR 52.227-19 の「Commercial Computer Software-Restricted Rights」条項のサブパラグラフ (c)(1)、DFARS 252.227-7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software」条項のサブパラグラフ (c)(1)(ii)、NASA FAR 補遺 16-52.227-86 の「Commercial Computer Software--Licensing」条項のサブパラグラフ (d)、もしくはそれらと同等の条項で定める制限の対象となります。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあり、また BEA による責務を意味するものではありません。本ソフトウェアおよびマニュアルは「現状のまま」提供され、商品性や特定用途への適合性を始めとする（ただし、これらには限定されない）いかなる種類の保証も与えません。さらに、BEA は、正当性、正確さ、信頼性などについて、本ソフトウェアまたはマニュアルの使用もしくは使用結果に関していかなる確約、保証、あるいは表明も行いません。

商標または登録商標

BEA、Jolt、Tuxedo および WebLogic は BEA Systems, Inc. の登録商標です。BEA Builder、BEA Campaign Manager for WebLogic、BEA eLink、BEA Manager、BEA WebLogic Commerce Server、BEA WebLogic Enterprise、BEA WebLogic Enterprise Platform、BEA WebLogic Express、BEA WebLogic Integration、BEA WebLogic Personalization Server、BEA WebLogic Portal、BEA WebLogic Server および How Business Becomes E-Business は、BEA Systems, Inc. の商標です。

その他の商標はすべて、関係各社がその権利を有します。

ポータル サンプル — 訪問者および管理者

マニュアルの版数	日付	ソフトウェアのバージョン
なし	2002 年 6 月 28 日	WebLogic Portal 7.0

目次

まえがき	v
第 1 章 このツアーについて	
ツアーの開始	1-1
第 2 章 訪問者オプション	
[Home] ページ	2-1
新規ユーザの登録	2-2
ポータルの外観の変更	2-4
ポータル レイアウトのカスタマイズ	2-7
表示されるページを変更する	2-7
ページのレイアウトを変更する	2-9
ポートレットの配置と可視性を変更する	2-11
ポートレット コントロール	2-13
第 3 章 ポータル管理	
ポータル管理の概要	3-1
WebLogic Portal Administration Tools の開始	3-2
[ポータル管理ホーム]	3-3
ポータル管理	3-4
グループ ポータル管理	3-12
[外観およびコンテンツ] のカテゴリ	3-14
[ユーザおよびグループの管理]	3-34
[ユーザ管理]	3-35
[ユーザグループ管理]	3-36
[委託管理]	3-38
この後の展開	3-41

索引

まえがき

『ポータル サンプル — 訪問者および管理者』へようこそ。このマニュアルの他に、以下のリソースも活用されることをお勧めします。

オンライン マニュアルの参照 BEA 製品マニュアルは、BEA 社の Web サイトで公開しています。BEA Home ページで [製品のドキュメント] リンクをクリックするか、「e-docs」製品ドキュメント ページ (<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/>) に直接アクセスしてください。

マニュアルについてのフィードバック BEA WebLogic Portal マニュアルについてのフィードバックをお寄せください。ご質問やコメントがあれば、電子メールで docsupport-jp@bea.com までお送りください。なお、お送りいただく電子メールには、WebLogic Portal 7.0 のマニュアルをお使いであることを明記してください。

BEA WebSUPPORT への連絡 このバージョンの WebLogic Portal について質問がある場合、または WebLogic Portal のインストールや実行に問題がある場合には、BEA WebSUPPORT (<http://support.bea.com/welcome.jsp>) を通じて BEA カスタマ サポートにご連絡ください。製品パッケージに同梱のカスタマ サポート カードに記載されている連絡先にお問い合わせいただいても結構です。



第1章 このツアーについて

ポータル サンプル - 訪問者および管理者ツアーへようこそ。このツアーでは、BEA WebLogic Portal 7.0 のポータル機能を習得するお手伝いをします。ポータル サンプル - ポートレット機能ツアーと同様、Avitek Financial ポータルをサンプルとして使用します。しかし、このツアーではポートレットで何ができるかではなく、ポータルの機能に焦点を当てます。ポータル サンプル - ポートレット機能ツアーについては、

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/samptour/index.htm> を参照してください。

このツアーは、Avitek Financial サンプル ポータル アプリケーションとそのポートレットにおける外観と構成を変更するためのステップごとの手順と、ポータルの各種機能についての説明から成ります。ツアーの前半では、さまざまな訪問者オプションに慣れ親しみ、ユーザの新規作成、ポータルの配色（スキン）の変更、およびポートレットの追加、削除、移動といった操作を行います。ツアーの後半では、ポータル管理について学び、訪問者オプションの場合と同様の操作をグループに対して行うほか、資格、管理特権、委託について理解します。

ツアーの開始

ツアーを開始する前に、以下のソフトウェアがインストールされていることを確認します。

- WebLogic Server 7.0
- WebLogic Portal 7.0 (Portal Examples を含む)

ツアーを開始するには、最初にサーバを起動して Portal Example を起動する必要があります。

1. WebLogic Portal を次の手順で起動します。

Windows の場合: [スタート] メニューから [プログラム | BEA WebLogic Platform 7.0 | WebLogic Portal 7.0 | Portal Examples | Portal Example | Launch Portal Server] を選択する。

UNIX の場合: < インストール ディレクトリ

```
>/weblogic700/samples/portal/sampleportalDomain/startSamplePortal.sh を実行する。
```

2. WebLogic Portal を実行した後、Portal Example を次の手順で起動します。

Windows の場合: [スタート] メニューから [プログラム | BEA WebLogic Platform 7.0 | WebLogic Portal 7.0 | Portal Examples | Portal Example | Start Portal Example] を選択する。

UNIX の場合: Portal Example クライアントにログオンする。デフォルト設定で WebLogic Portal をインストールした場合には、サーバと同じマシン上で起動したブラウザに、次の URL を入力する。

```
http://localhost:7501/sampleportal/index.jsp
```

localhost は、Portal Example を実行するサーバの名前とする。

以上で、WebLogic Portal の登録ユーザが利用できるオプション ツアーを開始する準備が整いました。

第2章 訪問者オプション

ポータルへの訪問者はブラウザベースのツールを使って、自分のポータルの構成と外観をパーソナライズできます。この章では、登録済みの訪問者と未登録の訪問者が利用できるポータルの機能について詳述します。以下の節から構成されています。

- [\[Home\] ページ](#)
- [新規ユーザの登録](#)
- [ポータルの外観の変更](#)
- [ポータル レイアウトのカスタマイズ](#)
- [ポर्टレット コントロール](#)

[Home] ページ

サンプル ポータルのデフォルトの [Home] ページを [図 2-1](#) に示します。

図 2-1 サンプルポータル の [Home] ページ デフォルト



デフォルトのホーム ページにはポートレットが1つ、ページ タブが2つ、そして [login] ボタンが1つ含まれていることに注目してください。訪問者はログインしたあとで、[Home] ページや [Web] ページの外観とレイアウトを変更することができます。

新規ユーザの登録

訪問者からのポータルへのアクセスとポータルの見え方は、その訪問者が所属しているグループによって決まります。詳細については第3章「ポータル管理」で学びます。新規ユーザとして登録し、グループ メンバーシップがどのようにポータルに影響するかを確認してみます。

新規ユーザとして登録するには、以下の手順に従います。

1. [login] ボタンをクリックします。図 2-2 に示すように、ログイン ページが表示されます。

図 2-2 [ポータル ログイン] ページ

2. [今すぐサインアップする] をクリックします。図 2-3 に示すような [新しいアカウントの作成] ページが表示されます。

図 2-3 [新しいアカウントの作成] ページ

3. 必須フィールドに適切な情報を入力してから、[Save] ボタンをクリックします。図 2-4 に示すような [Home] ページが開きます。

図2-4 サンプルポータルの [Home] ページ— ユーザログイン後



この段階ではページに [customize my portal] ボタンと [change password] ボタンが含まれていることに注目してください。また、[login] ボタンが [logout] ボタンに変わっています。次のステップでは、このポータルをカスタマイズします。

ポータルの外観の変更

ポータルの外観の変更とは、スキンの変更を意味します。スキンによってポータルのロゴ、ポートレットコントロールの画像（最小化アイコンや編集アイコンなど）、デフォルトフォントの書体とサイズ、色属性といった要素が切り替わります。スキンは、カスケーディングスタイルシート (CSS) ファイルと画像ディレクトリから成ります。作成済みのスキンが5セット用意されており、HTML開発者はこれらのCSS ファイルを修正し新しい画像を作成することで、新たなスキンを作成することができます。

デフォルトのスキンを変更するには、以下の手順に従います。

1. [customize my portal] ボタンをクリックします。図2-5 に示すような [ポータルの表示のカスタマイズ] ページが表示されます。

図 2-5 [ポータルの表示のカスタマイズ] ページ



2. [スキンの選択] をクリックします。図 2-6 に示すような [スキンの選択] ページが表示されます。

図 2-6 [スキンの選択] ページ



注意： [選択可能スキン] リスト内のアスタリスクの付いた項目は、現在のデフォルトを示します。

3. [選択可能スキン] リストから項目を 1 つ選びます。図 2-7 に示すように、選択したスキンのプレビューが表示されることに注目してください。

図 2-7 [スキンの選択] ページ — スキンのプレビュー



4. [Save] ボタンをクリックします。図 2-8 に示すように、[ポータルの表示のカスタマイズ] ページが新しいスキンで表示されます。

図 2-8 [ポータルの表示のカスタマイズ]—新しいスキンを適用



ポータル レイアウトのカスタマイズ

登録済みの訪問者は、ポータルのレイアウトを自分のニーズや好みに合わせるすることができます。どのページが表示されるか、どのページがホーム ページになるか、どのポートレットが表示されるか、各ページにポートレットがどのように配置されるかを決定することができます。

表示されるページを変更する

ホーム ページのメイン コンテンツ領域には、任意の数のページを積み重ねることができます。タブの付いたナビゲーション バーを使えば、訪問者はページをすばやく切り替えることができます。この節では、ホーム ページ上に表示されるページ タブを変更します。デフォルトのサンプル ポータルには、[Home]、[Web] という 2 つのページ タブが表示されます。

表示されるページ タブを変更するには、以下の手順に従います。

1. [ページの選択と順序設定] をクリックします。図 2-9 に示すような [ページの選択] ページが表示されます。

図 2-9 [ページの選択]



2. [Web] を選択してから、[Set as Home] ボタンをクリックします。[Web] の横にアスタリスクが表示されるようになったことに注目してください。
3. [Home] を [選択済みページ] から [未選択ページ] へ移します。
4. 変更を適用するには、[save] ボタンをクリックします。
5. 変更結果を見るには、[return to portal] ボタンをクリックします。図 2-10 に示すように、新しいホーム ページが表示され、そこに変更内容が反映されています。

図 2-10 サンプルポータルの新たなホームページ — 表示されるタブは1つ



ページのレイアウトを変更する

ページのレイアウトは、ポートレットがページにどのように配置されるかを定義したものです。レイアウトは、JSP タグを含んだ HTML テーブルから構成されます。こうした構造のおかげで幅広いレイアウトが可能のため、HTML 開発者は新しいレイアウトを容易に作成できます。WebLogic Portal には、あらかじめ作成されたレイアウトが 5 つ用意されています。

重要： ツアーのこの部分を開始する前に、[2-7 ページの「表示されるページを変更する」](#)で行った変更を取り消します。つまり、[Home] ページを再び表示させてデフォルトに設定し直します。

ページのレイアウトを変更するには、以下の手順に従います。

1. [Home] ページから、[customize my portal] ボタンをクリックします。[ポータルの表示のカスタマイズ] ページが表示されます。
2. [選択済みページ] のセクションで、[Home] ページの [Layouts] ボタンをクリックします。[図 2-11](#) に示すような [現在のレイアウトの選択] ページが表示されます。

図 2-11 [現在のレイアウトの選択] ページ



3. [利用可能レイアウト] リストの [spanning] をクリックします。このレイアウトのプレビューがリストの横に表示されます。
4. 変更を適用するには、[save] ボタンをクリックします。[ポータル表示のカスタマイズ] ページで [return to portal] ボタンをクリックします。図 2-12 に示すような新しい [Home] ページが表示され、そこに変更内容が反映されています。レイアウトを変更する前のページの外観は 図 2-10 に示したとおりです。

図 2-12 サンプルポータルの [Home] ページ — 新しいレイアウト



ポートレットの配置と可視性を変更する

ページのレイアウトを変更できることに加え、どのポートレットを表示させるかや、ポートレットが置かれるカラムやそのカラム内での配置を変更することができます。

表示されるポートレットを変更するには、以下の手順に従います。

1. [Home] ページから、[customize my portal] ボタンをクリックします。[ポータルの表示のカスタマイズ] ページが表示されます。
2. [選択済みページ] のセクションで、[Home] ページの [Portlets] ボタンをクリックします。図 2-13 に示すような [このページのポートレットの選択と順序設定] ページが表示されます。

図 2-13 [このページのポートレットの選択と順序設定 : home]



3. 矢印ボタンを使って、ホーム ページを好みに合わせて構成にします。
 - ポートレットを表示対象として追加または削除するには、ポートレットを選択してから、矢印ボタンを使って [選択可能ポートレット] と [表示対象ポートレット] セクション間を移動させる。
 - セクション間でポートレットを移動させるには、該当するポートレットを選択してから、[次のセクション] 矢印と [前のセクション] 矢印を利用する。
 - セクション内でのポートレットの順序を変更するには、ポートレットを選択してから、[上に移動] 矢印と [下に移動] 矢印を利用する。
4. 変更を適用するには、[Save] ボタンをクリックします。
5. 変更結果を見るには、[return to portal] をクリックします。変更の一例を [図 2-14](#) に示します。変更前の [Home] タブの外観は [図 2-1](#) に示したとおりです。

図 2-14 サンプル ポータルの [Home] ページ — 新しいポートレット配置











ポートレット コントロール

ポートレットとは、ポータル ページ内に小さなウィンドウを持つ、特定機能のコンテンツ領域です。ポートレットは、スタンドアロンの Web ベース アプリケーション、または、従来のアプリケーションやサードパーティ製アプリケーションを表示することもできます。ポートレットは、JavaServer Pages (JSP) を使って実装されます。ポートレットの複雑さは静的な HTML を含むものから、アプリケーション サーバ内の EJB コンポーネントや他のアプリケーション機能にアクセスする JSP タグ ライブラリや JSP スクリプトレットを利用するものまでさまざまです。

ポートレットの外観は、選択したスキンに基づいて変化します。加えて、ポートレットは複数のビューを持つことができます。たとえば、ポートレットの最大化、最小化、あるいはポータルからの取り外しが可能です。ポートレットのタイトルバーの右隅に、こうしたビュー用のコントロールが置かれています。

サンプル ポータルに含まれるポートレット コントロールを表 2-1 に列挙します。

表 2-1 ポートレット コントロール

ボタン	解説
	ヘルプ ウィンドウを開く。
	ポートレットをブラウザ ウィンドウのフル サイズまで最大化する。
	最大化されたポートレットを元のサイズに戻す。
	ポートレットを編集用を開く。詳細については、 2-14 ページの「ポートレットを編集する」 を参照。
	編集中のポートレットを閉じる。詳細については、 2-14 ページの「ポートレットを編集する」 を参照。
	ポートレットを別のブラウザ ウィンドウに開く。
	ポートレットを最小化してタイトル のみの表示にする。
	最小化されたポートレットを元のサイズに戻す。

ポートレットを編集する

この節では、訪問者が World News ポートレットをコンフィグレーションする手順について説明します。このポートレットには、インターネット上のさまざまな通信社がリンクされており、それらから配信されるニュース記事が表示されます。[図 2-15](#) に、コンフィグレーション前の World News ポートレットを示します。

World News ポートレットを編集するには、以下の手順に従います。

1. [Home] ページから、[Web] タブをクリックします。[Web] ページが表示されます。[図 2-15](#) に、コンフィグレーション前の World News ポートレットを示します。

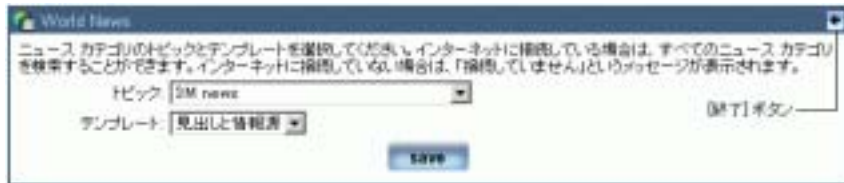
図 2-15 World News ポートレット — コンフィグレーション前の状態



2. タイトルバーの [編集] ボタンをクリックします。図 2-16 に示すように、ポートレットが最大化され編集可能になります。

注意： World News ポートレットのタイトルバーにコントロールが表示されない場合には、ログインする必要があります。

図 2-16 World News ポートレット — 編集可能な状態



3. トピックとテンプレートを、それぞれ [トピック] と [テンプレート] のドロップダウン リストから選択して [save] ボタンをクリックした後、(タイトルバーの) [終了] ボタンをクリックします。図 2-17 に示すように、選択されたニュース ソースから提供されるトピックがポートレットに表示されます。

図 2-17 World News ポートレット — コンフィグレーション後の状態



4. ニュース記事を見るには、リンクをクリックします。その記事が新しいブラウザ ページに表示されます。
- ツアーの訪問者用の部分はこれで終わりです。

第3章 ポータル管理

WebLogic Portal 7.0 には、エンタープライズ Web サイトを開発、デプロイメント、管理するためのツール セットが用意されています。これらのツールは、BEA E-Business Control Center および WebLogic Portal Administration Tools に含まれています。このマニュアルでは、WebLogic Portal Administration Tools の一部であるポータル管理ツールに関するツアーを提供します。この章には次のような情報が含まれます。

- [ポータル管理の概要](#)
- [WebLogic Portal Administration Tools の開始](#)
- [\[ポータル管理ホーム\]](#)
- [この後の展開](#)

ポータル管理の概要

WebLogic Portal Administration Tools は、ブラウザベースで認可ユーザから容易にアクセスでき、またその操作を認可ユーザに委託することができます。通常、これらのツールで実行した作業は、稼働中のポータル インスタンスにただちに効果を及ぼします。WebLogic Portal Administration Tools のユーザ インタフェースは JavaServer Pages を使って実装されています。

ツアーの後半部分について このツアーの後半では、ポータル管理機能をデモンストレーションします。ここでは「システム管理者」として WebLogic Portal Administration Tools にアクセスします。そのため、すべての管理機能を利用できます。ツアーのこれ以降の部分では、「訪問者オプション」のときのような厳密なステップごとの手順は示されません。自由に内容を調べ、このツアーに明示されていないような変更も行ってみてください。

WebLogic Portal Administration Tools の開始

このツアーの後半部を始めるまえに、[1-1 ページの「ツアーの開始」](#)で説明したように、サンプルのポータルが起動されているかを確認します。

1. WebLogic Portal が起動されている状態で、サンプル ポータルを次のように起動します。

Windows の場合: [スタート] メニューから [プログラム | BEA WebLogic Platform 7.0 | WebLogic Portal 7.0 | Portal Examples | Portal Example | Start Portal Admin Tools] を選択する。

UNIX の場合: サンプル ポータルのクライアントにログオンする。デフォルト設定で WebLogic Portal をインストールした場合には、サーバと同じマシン上で起動したブラウザで以下の URL を使うことができる。

```
http://localhost:7501/sampleportalTools/index.jsp
```

localhost は、サンプル ポータルが実行されているサーバの名前とする。

2. [ネットワーク パスワードの入力] ダイアログ ボックスに次のように入力します。

[ユーザー名]: 「 administrator 」

[パスワード]: 「 password 」

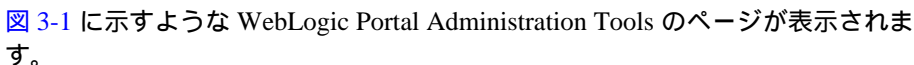
 [図 3-1](#) に示すような WebLogic Portal Administration Tools のページが表示されます。

図 3-1 WebLogic Portal Administration Tools



[ポータル管理ホーム]

[ポータル管理ホーム] ページは、ポータルの全機能にアクセスする出発点となります。以下のいくつかの段落に、このツアーでデモンストレーションされる機能を理解する助けとなる情報を示します。注意深くお読みください。

ポータルとグループ ポータルについて アプリケーションは複数のポータルを持つことができ、各ポータルは複数のグループポータルを持つことができます。個々のポータルおよびグループポータルは別々の管理者による管理が可能であり、それぞれが独自のルックアンドフィールを持ち、さまざまなページやポートレットを含んでいます。

たとえば、アプリケーションに3つのポータルを持たせることができます。パートナ向けのポータル、小売客向けのポータル、そして企業ポータルです。企業ポータルには、管理者グループポータルと従業員グループポータルを含ませます。従業員グループポータルでは、「社内報」、「人事」、「社内店舗」といったポートレットを含んだホームページが用いられ、管理者グループポータルでは、これらのポートレットに加えて、「会議」、「管理」、「経費報告」といったポートレットが含まれるかもしれません。各ポータルで異なるページとスキンが用いられるでしょう。

グループポータル定義 グループポータルでは、1つのポータルに対して種々のコンフィグレーションが行われます。各コンフィグレーション（グループポータル）では1つのユーザグループが指定され、管理者とユーザ間で特権を委託することができます。

委託管理 WebLogic Portal には、委託管理（分散管理と呼ばれることもある）の機能があります。委託管理により管理作業を割り当てることができ、管理者が他の管理者やユーザに管理権限のすべて、または一部を委ねられるようになります。たとえば、システム管理者からエンジニアリンググループポータルの完全な制御がR&D部長に委託され、R&D部長からR&D管理者の各々に管理権限の一部が委託されるかもしれません。

ポータル管理

[ポータル管理ホーム]から、以下の機能にアクセスできます。

- ポータル管理者を新規作成する。
- ポータル管理者に管理作業を委託する
- グループポータルを新規作成する
- 既存のグループポータルにアクセスし編集する。
- グループポータルを削除する

ポータル管理とポータル管理者について理解するには、以下の手順を実行します。

1. [ポータル管理ホーム]ページにアクセスするには、WebLogic Portal Administration Tools ページの [ポータル管理] アイコンをクリックします。
[図 3-2](#) に示すような [ポータル管理ホーム] ページが表示されます。

図 3-2 [ポータル管理ホーム]— 初期状態



このページでは、デフォルトおよび既存のグループポータルへのアクセス、グループポータルの新規作成と削除、ポータル管理者の編集を行います。

2. [ポータル管理ホーム] ページの右カラムで、[ポータル管理者を編集] をクリックします。図 3-3 のような [ポータル管理者設定の編集] ページが開きます。

図 3-3 [ポータル管理者設定の編集]



このページでは、新しい管理者を作成、またはユーザを選択し、そのユーザの管理者設定にアクセスします。

3. [管理者を新規作成] ボタンをクリックします。図 3-4 に示すような [ポータル管理者の新規作成] ページが開きます。

図 3-4 [ポータル管理者の新規作成]

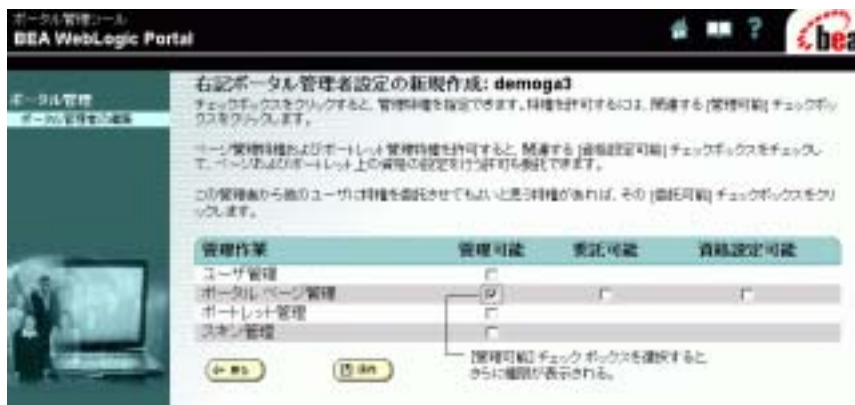


このページでは、ユーザまたは管理者を選択し、その人の特権にアクセスすることができます。[管理者資格のあるユーザ] リストには、ポータル管理者になることが許されているユーザが含まれます。[昇格可能なグループ管理者] リストには、既になんらかの管理権限を持っているユーザ、つまり既にグループポータル管理者であるユーザが含まれます。

なぜ2つのリストが？ これらのリストでは、ユーザが不注意にポータル管理者に昇格しないように後押しすることが意図されています。[管理者資格のあるユーザ] リストのユーザは、WebLogic Portal Administration Tools ホームページからアクセスできるユーザ管理ツールを使用して、そこにいられます。詳細については、<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/usrgpr.htm> にある『管理者ガイド』の「ユーザとグループの管理」を参照してください。

4. どちらかのリストの任意のユーザを選択してから [ユーザを選択] ボタンをクリックします。図 3-5 に示すような [ポータル管理者設定の新規作成] ページが開きます。

図 3-5 [右記ポータル管理者設定の新規作成]



このページでは、新しい管理者の特権を設定することができます。[管理可能] チェック ボックスを選択すると、選択できる特権のチェック ボックスが表示されます。各属性の意味を以下に列挙します。

- [管理可能]- ポータル管理者がこのタスク領域を管理できる。たとえば、[ユーザ管理] がチェックされた場合には、管理者はこのポータルの訪問者を表示、編集、追加、削除できる。
 - [委託可能]- ポータル管理者が管理の権利を他の管理者に委託できる。
 - [資格設定可能]- ポータル管理者がページとポートレットで資格を設定できる。
5. [ポータル管理ホーム] に戻るには、左カラムの [ポータル管理] をクリックします。[ポータル管理ホーム] ページが表示されます。
 6. [ポータル管理ホーム] ページの右カラムで、[グループ ポータルを新規作成] をクリックします。図 3-6 のような [グループ ポータルの新規作成] ページが開きます。

図 3-6 [グループ ポータルの新規作成]



このページでは、新しいグループポータルの名前を入力、ナビゲーションバーの向きの設定、ユーザグループやテンプレートを割り当てるページへの移動を行うことができます。

7. [ユーザグループをブラウズ] ボタンをクリックします。図 3-7 に示すような [ユーザグループの選択] ページが開きます。

図3-7 [ユーザグループの選択]



グループポータルは、必ず1つのユーザグループに関連付けられます。ポータルが作成されると、デフォルトのユーザグループとして「everyone」グループが自動的に生成されます。WebLogic Portal Administration Toolsの一部であるユーザ管理ツールを使ってユーザグループの管理を行います。ユーザグループの詳細については、<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/usrgpr.htm>にある『管理者ガイド』の「ユーザとグループの管理」を参照してください。

- ユーザグループのいずれかをクリックします。[グループポータルの新規作成]ページが開き、その[ユーザグループ]フィールドに選択したグループが表示されています。
- [グループポータルの新規作成]ページで、[テンプレートをブラウズ]ボタンをクリックします。図3-8に示すような[テンプレートのブラウズ]が開きます。

図 3-8 [テンプレートのブラウズ]



このページでは、新しいグループポータルのためにテンプレートとして使用する、グループポータルを選択することができます。このサンプルポータルで選択できるのは、「Avitek Portal」(デフォルト)と「Avitek Users」の2つだけです。

10. 「Avitek Users (Avitek)」をクリックします。図 3-9 に示すような [グループポータルの新規作成] ページが再び表示されます。

図 3-9 [グループポータルの新規作成]



このページでは、テンプレートから管理者と資格をコピーできるようになっている点に注目してください。

11. [ポータル管理ホーム] ページに戻るには、左カラムの [ポータル管理] をクリックします。[ポータル管理ホーム] ページが表示されます。

以上でポータル管理機能の探索が終わりました。

グループポータル管理

グループポータルは、指定されたユーザーグループ用に定義されたポータルのコンフィグレーションです。このサンプルポータルには、2つのグループポータルが用意されています。「everyone」グループポータルと「Avitek Users」グループポータルです。「everyone」グループポータルはデフォルトグループポータルであり、グループポータルメンバーとしてログインする前、またはメンバーでない訪問者に対して表示されるポータルです。

「Avitek Users」グループポータルを使って、グループポータルで利用できる機能を説明します。グループポータル管理を理解するには、以下の手順に従います。

1. [ポータル管理ホーム] ページの右カラムで、「Avitek Users (Avitek)」をクリックします。図 3-10 に示すような [グループ ポータル管理ホーム] ページが開きます。

図 3-10 [グループ ポータル管理ホーム]



図 3-10 を見ると分かるように、[グループ ポータル管理ホーム] ページには多数のグループポータル機能が用意されています。右カラムには、各ポータル機能へのリンクとそれぞれで実行できることについての簡単な説明が示されています。左側のメニューカラムには、右側のカラムに並んでいるのと同じページへのリンクに加え、このグループポータルについての情報が表示されています。

システム管理者としてアクセスしていれば、利用可能な機能をすべて見ることができます。委託管理者には、委託された特権に応じてこれらの機能の一部が表示されます。これ以降の節では、それぞれで実行できることについて説明します。

[外観およびコンテンツ] のカテゴリ

この名前が示すとおり、ポータルのコンテンツ、動作、外観を変更することができます。

[ページとポートレットを管理]

このカテゴリでは、以下を含んだ多様な機能を利用できます。

- このグループで使用するページを選択し、ナビゲーションバーにそれらのページが表示される順序を設定し、ホームページにするページを選択する。
- 各ページまたは複数ページの属性を設定する。
- レイアウトの名前を編集できる。
- ページのレイアウトとポートレットの配置を変更する。
- ページとポートレット両方の属性と資格を変更する。

ページとポートレットの管理について理解するには、以下の手順を実行します。

1. [グループポータル管理ホーム] ページで、右カラムの [ページとポートレットを管理] をクリックします。または、左側のメニューカラムの [ページ & ポートレット] をクリックしてもよいです。図 3-11 に示すような [ページおよびポートレット] ページが表示されます。

図 3-11 [ページおよびポートレット]



2. [ページの選択と順序設定] をクリックします。図 3-12 に示すような [ページの選択と順序設定] ページが表示されます。

図 3-12 [ページの選択と順序設定]



このページでは、以下のことを行います。

- グループで利用できるページを設定する。たとえば、[Web] ページを [未使用ページ] カラムに移動した場合には、これがグループのメンバーから利用できなくなる。
 - 利用可能なページの順序を設定する。ページ タブの左から右への順序（水平ナビゲーションバーの場合）または、垂直方向の順序（垂直ナビゲーションバーの場合）を設定できる。これらの順序が、[] リスト内のページの並びによって決定される。
 - ホーム ページにするページを選択する。選択したページにはアスタリスクが付けられる。
3. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] をクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
 4. 複数のページの属性を設定するには、[複数ページ用属性の設定] をクリックします。図 3-13 に示すような [ページ属性の設定] ページが表示されます。

図 3-13 [ページ属性の設定]— 初期状態



注意： デフォルト ページ以外の複数のページの属性を設定することができます。図 3-13 の例には、サンプル ポータルの最初の設定には含まれていなかったものが含まれています。アスタリスクはデフォルト ページを示しています。

5. [Web] を選択してから [属性を設定] ボタンをクリックします。図 3-14 に示すように、選択したページの [右記ページの属性の設定] が表示されます。

図 3-14 [右記ページの属性の設定]— 選択したページ



このページでは、1つのページ、または複数ページの特定の属性を設定することができます。ここで表示されるのは、選択したページに共通している属性だけです。1つのページだけが選択されている場合には、すべての属性が表示されます。各属性の意味を以下に列挙します。

- [利用可能] – ページを表示可能にする。
 - [表示対象] – ページを訪問者に表示する。
 - [必須] – ページを表示対象としていない訪問者の設定を無効にする。
 - [表示名] – ページ名を変更する。
 - [訪問者による名前の編集が可能] – 訪問者がページ名を変更できる。
 - [画像を使用] – テキストではなく画像を使ってページ名を表示する。
6. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、左カラムの [ページ & ポートレット] をクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
7. 利用可能な各種レイアウトの名前を変更するには、[レイアウト表示名の編集] をクリックします。図 3-15 に示すような [レイアウト表示名の編集] ページが表示されます。

図 3-15 [レイアウト表示名の編集]



このページでは、グループに表示されるレイアウト名を変更することができます。レイアウトの名前ではなく、グループに対して表示される名前が変わります。

8. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。
9. ページのレイアウト オプションを表示させるには、[レイアウト] ボタンの 1 つをクリックします。図 3-16 に示すような [右記ページのレイアウトの選択] ページが表示されます。

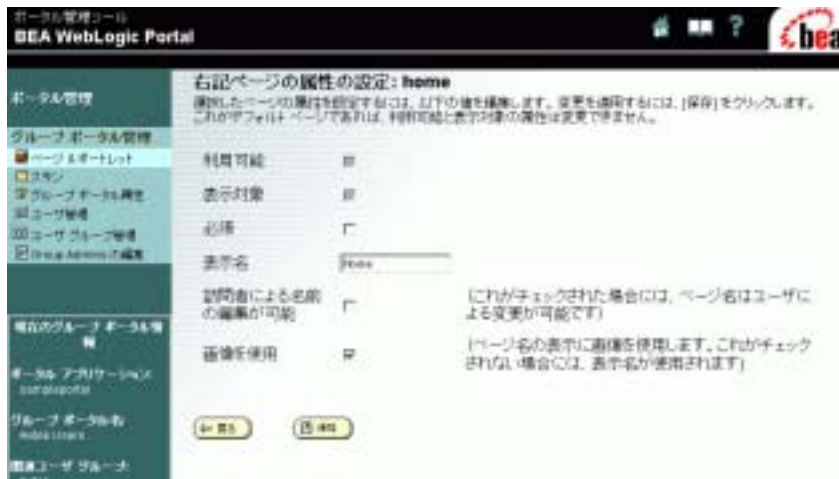
図 3-16 [右記ページのレイアウトの選択]



このページでは、このグループで利用するレイアウトや、デフォルトレイアウトを設定できます。アスタリスクはデフォルトレイアウトを示しています。

10. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。
11. ページの属性を設定するには、そのページの [属性] ボタンをクリックします。図 3-17 に示すような [右記ページの属性の設定] ページが表示されます。

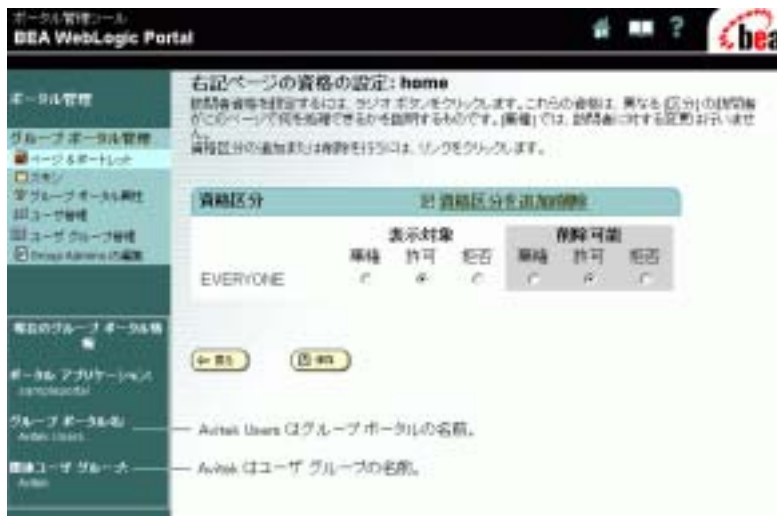
図 3-17 [右記ページの属性の設定]



このページでは、特定のページの属性を設定することができます。各属性の意味を以下に列挙します。

- [利用可能] – ページを表示可能にする
 - [表示対象] – ページを訪問者に表示する
 - [必須] – ページを表示対象としていない訪問者の設定を無効にする
 - [表示名] – ページ名を変更する
 - [訪問者による名前の編集が可能] – 訪問者はページ名を変更することができます
 - [画像を使用] – テキストではなく画像を使ってページ名を表示する
12. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
13. ページの資格を設定するには、そのページの [資格] ボタンをクリックします。図 3-18 に示すような [右記ページの資格の設定] ページが表示されます。

図 3-18 [右記ページの資格の設定]—EVERYONE



このページでは、資格区分と呼ばれる訪問者グループに対して、ページの資格を設定することができます。ページの資格によって、訪問者がページにアクセスできるかや、訪問者が変更を行えるか否か（つまり、特権）が制御されます。

このページには、「EVERYONE」の資格区分だけが表示されています。[資格区分を追加 / 削除] をクリックすると、別の資格区分を追加できます（[図 3-20](#) を参照）。

資格区分について 資格区分は、共通の特徴を持ったユーザのグループです。Avitek ユーザグループには（グループポータル名の「Avitek Users」ではありません）、「Approver」、「Investor」、「FinancialAdvisor」という3つの資格区分があります（[図 3-19](#) を参照）。資格区分は E-Business Control Center で定義されます。左カラムに示されるように、各グループポータルが1つのユーザグループと関連付けられることを思い出してください。

注意： 資格区分の詳細については、<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/usrgrp.htm#1182407>にある『管理者ガイド』の「ページとポートレットへのアクセスを制御するためのグループの作成」、または、E-Business Control Center のオンラインヘルプを参照してください。

14. 資格区分を追加するには、[資格区分を追加 / 削除] をクリックします。図 3-19 に示すような [右記ページの資格区分の追加 / 削除] ページが表示されます。

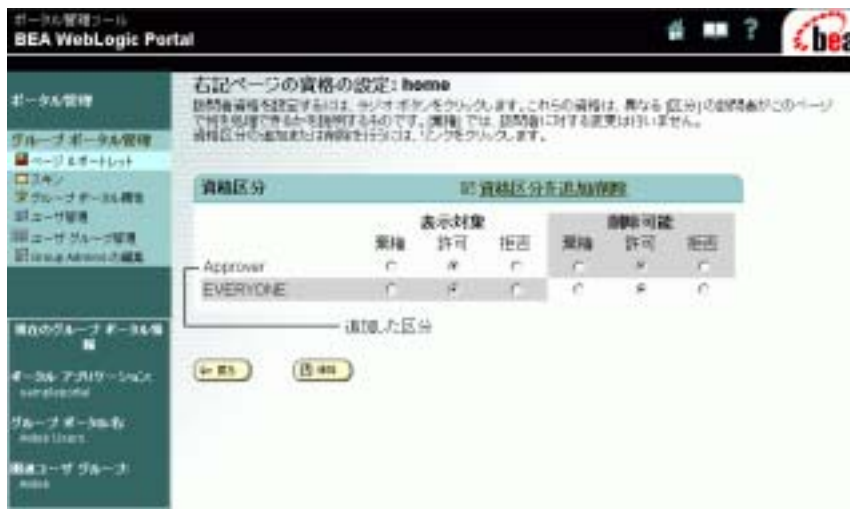
図 3-19 [右記ページの資格区分の追加 / 削除]



このページでは、資格を設定したい区分を選択することができます。

15. 区分の 1 つを選択し、[選択済み資格区分] リストに移動させてから [保存] ボタンをクリックします。図 3-20 に示すような [右記ページの資格の設定] ページが表示されます。

図 3-20 [右記ページの資格の設定]—EVERYONE と Approver



今度はこのページで、「Approver」区分に対して独立に資格を設定できるようになりました。

注意： [棄権] は、分散管理の機能です。他の資格区分が特定のページの資格を決定できるようにさせることができます。たとえば、「Approver」の [削除可能] カラムの [棄権] を選択した場合には、この資格は「EVERYONE」の資格設定によって決定されるようになります。[棄権] では、特定の資格の設定を他の資格に影響を与えることなく行えるようになります。

16. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
17. あるページのポートレットの属性と資格を変更するには、[ポートレットの編集] ボタンをクリックします。図 3-21 に示すような [右記ページのポートレットの資格と属性の編集] ページが表示されます。

図 3-21 [右記ページのポートレットの資格と属性の編集]



このページでは、編集したいポートレットを選択することができます。これらのポートレットに対して行った変更は、選択したページ上のポートレットの特徴のみに影響を与えます。

- 任意の数のポートレットを選択して [属性を設定] ボタンをクリックします。[図 3-22](#) に示すような [ポートレットの属性の設定] ページが表示されます。

図 3-22 2つのポートレットの[ポートレットの属性の設定]



これらのチェック ボックスの機能を以下に列挙します。

- [利用可能] – ポートレットを表示可能にする。
 - [表示対象] – ポートレットを訪問者に表示する。
 - [最小化可能] – ポートレットを最小化可能にする。
 - [最大化可能] – ポートレットを最大化可能にする。
 - [デフォルトでは最小化] – ポートレットをデフォルトでは最小化状態で表示する。
 - [移動可能] – ポートレットを専用のウィンドウで開くことができる。
 - [必須] – ポートレットを表示対象としていない訪問者の設定を無効にする。
 - [表示名] – ポートレット名を変更する。
19. [右記ページのポートレットの資格と属性の編集] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。[右記ページのポートレットの資格と属性の編集] ページが表示されます。
20. ポートレットの資格を設定するには、ポートレットを選択してから [資格を設定] ボタンをクリックします。図 3-23 に示すような [ポートレットの資格の設定] ページが表示されます。

図 3-23 [ポートレットの資格の設定]



既に述べたように、資格によって訪問者のページへのアクセスや、訪問者が変更できるものとできないものが制御されます。[編集可能] カラムに見られるように、ポートレットは編集可能にもなります。

[ページの資格の設定] ウィンドウで行ったのと同じ方法で資格区分を追加、または削除することができます。

21. [ページおよびポートレット] ページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
22. ページ上でのポートレットの配置を変更するには、[Home] ページの [ポートレットを配置] ボタンをクリックします。図 3-24 に示すように、[右記ページのポートレットの配置] ページが表示されます。

図 3-24 [右記ページのポートレットの配置 : home]



[デフォルト レイアウトでの表示対象ポートレットの位置] のセクションに 3 つのポートレット リストが含まれていることに注目してください。このセクションは、このページでデフォルトとして初期設定されている [three-column] レイアウトを反映しています。また、ポートレットを選択すると、そのポートレットの属性が表示され、それを編集することができます。

注意： デフォルト レイアウトを変更した場合には、このセクションはそのレイアウトの内容を反映するようになります。

23. [戻る] ボタンをクリックしてから [Web] ページの [ポートレットを配置] ボタンをクリックします。図 3-25 に示すような [右記ページのポートレットの配置] ページが表示されます。

図 3-25 [右記ページのポートレットの配置 : web]



[デフォルト レイアウトでの表示対象ポートレットの位置] のセクションに今回は 2 つのポートレット グループが含まれていることに注目してください。ここでは、[Web] ページのデフォルトである [two-column] レイアウトの内容が反映されています。

注意： このページのレイアウトを変更した場合には、変更した先のレイアウトを反映するようになります。

24. [戻る] ボタンをクリックします。[ページおよびポートレット] ページが表示されます。
25. 左側のメニュー カラムの最上部付近にある [グループ ポータル管理] リンクをクリックして、[グループ ポータル管理ホーム] ページに戻ります。

[スキンを選択]

スキンは、ポータル全体の外観を定義したものです。スキンによってポータルおよびそのページとポートレットで用いるフォント、色、画像が定義されます。サンプルポータルには 5 つのスキンがサンプルとして用意されています。スキンは、カスケーディングスタイルシート (CSS) ファイルと画像ディレクトリから成ります。HTML ページ デザイナとグラフィックアーティストとで新しいス

スキンを設計できます。スキンを設計し適切なディレクトリに配置した後、E-Business Control Center を利用してそのスキンがポータル管理ツールで利用可能になるようにする必要があります。

グループ スキンの機能について理解するには、以下のことを実行します。

1. [グループポータル管理ホーム] ページで、右カラムの [スキンを選択] をクリックします。または、左側のメニューカラムの [スキン] をクリックしてもかまいません。図 3-26 に示すような [スキンの選択] ページが表示されます。

図 3-26 [スキンの選択]



このページでは、グループで利用可能にするスキンやデフォルト スキンを指定できます。このグループでは、[未使用スキン] は見えません。また、スキンの名前を変更するページにアクセスすることができます。

2. スキンの表示名を変更するには、[スキン表示名の編集] ボタンをクリックします。図 3-27 に示すような [スキン表示名の編集] ページが表示されます。

図 3-27 [スキン表示名の編集]



このページでは、スキンに対して表示される名前を変更することができます。変更されるのはスキンの実際の名前ではなく、このグループに表示される名前です。

3. 左側のメニュー カラムの [グループ ポータル管理] をクリックし、[グループ ポータル管理ホーム] ページに戻ります。

[グループ ポータル属性]

このカテゴリでは、グループ ポータルに関連付けるユーザ グループを選択し、グループ ポータルに表示される名前を編集することができます。

ユーザ グループとは ユーザ グループは、WebLogic Portal Administration Tools の一部であるユーザ管理ツールで定義されたユーザから構成されます。あるいは、統合ユーザ ファイル (UUP) を使って、ユーザをサードパーティ製システムから WebLogic Portal に統合することもできます。

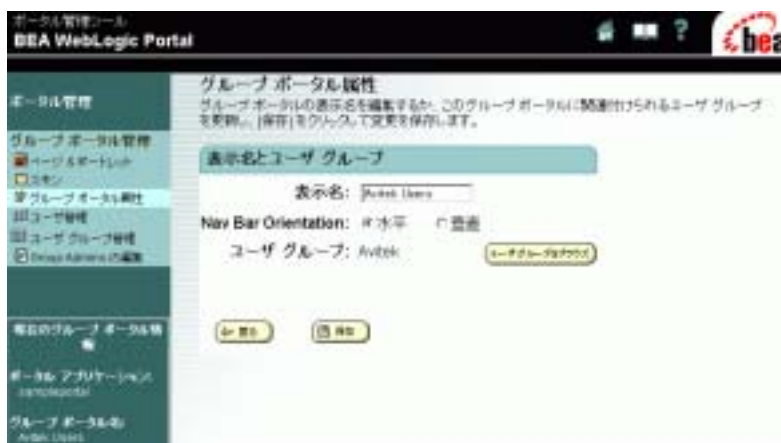
グループ ポータルとユーザ グループ グループ ポータルは必ず 1 つのユーザ グループに関連付けられます。3-4 ページの「ポータル管理」での説明に従い、ポータル管理のセクションで、ユーザ グループをグループ ポータルに割り当てます。WebLogic Portal Administration Tools のユーザ 管理ツールの部分でユーザ グループの作成とユーザのグループへの追加を行い、E-Business Control Center でユーザ プロパティの作成を行います。ユーザ グループの詳細については、

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/usrgrp.htm> にある『管理者ガイド』の「ユーザとグループの管理」、または、E-Business Control Center のオンラインヘルプを参照してください。

グループポータル属性について理解するには、以下のことを実行します。

1. [グループポータル管理ホーム] ページで、左右いずれかのカラムの [グループポータル属性] リンクをクリックします。図 3-28 に示すような [グループポータル属性] ページが開きます。

図 3-28 [グループポータル属性]



このページでは、ナビゲーションバーの向きの変更、グループポータルに対して表示される名前の変更を行います。図 3-29 は、垂直ナビゲーションバーの一例を示します。

図 3-29 垂直ナビゲーションバー



2. [ユーザグループをブラウザ] ボタンをクリックします。図 3-30 に示すような [ユーザグループの選択] ページが開きます。

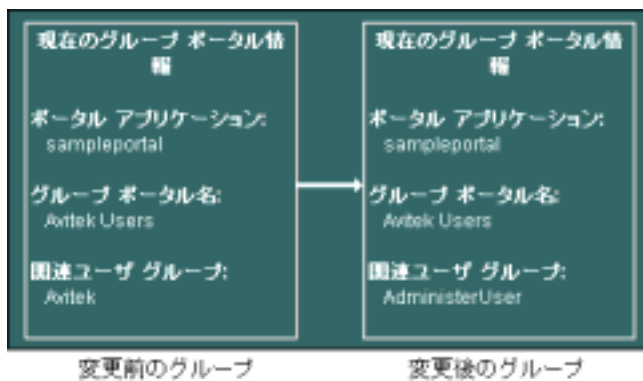
図 3-30 [ユーザグループの選択]



このページでは、ユーザグループの検索や、ユーザグループをグループポータルに割り当てることができます。すべてのグループポータルに必ず1つのユーザグループが付きます。

図 3-31 に示すように、グループでの割り当てと名前で行った変更のすべてが表示されます。

図 3-31 ユーザグループを変更する



3. 左側のメニュー カラムの [グループ ポータル管理] をクリックし、[グループ ポータル管理ホーム] ページに戻ります。

[ユーザおよびグループの管理]

このカテゴリでは、ユーザを管理したり、ユーザグループのプロパティを設定できます。特に、以下のことを実行できます。

- ユーザグループ内の訪問者の表示、編集、作成を行う (ユーザ管理)。
- グループポータルに関連付けられているユーザグループのプロパティを表示し編集する (ユーザグループ管理)。

プロパティについて ユーザグループプロパティは、E-Business Control Center で定義しデフォルト値を設定します。グループ管理では、グループポータルに関連付けられているグループのプロパティを設定することができます。プロパティの定義に関する詳細については、E-Business Control Center のオンラインヘルプを参照してください。

[ユーザ管理]

ユーザ管理では、ユーザグループ内の訪問者の表示、編集、削除、作成を行います。

ユーザ管理について理解するには、以下のことを実行します。

1. [グループポータル管理ホーム] ページで、右カラムの [ユーザ管理] リンクをクリックします。図 3-32 に示すような [ユーザ管理ホーム] ページが表示されます。

図 3-32 [ユーザ管理ホーム]



図 3-32 に表示されているユーザは、このページの機能を説明するために追加したものであり、このページの最初の状態ではユーザは 1 つも表示されません。このページのボタンとリンクには以下の機能があります。

- [グループからユーザを削除] ボタン – 該当するユーザをグループから削除する。
- [ユーザを削除] ボタン – ユーザをシステム全体から永久に削除する。
- [ユーザグループにユーザを追加] リンク – ユーザをリストから選択できるページを開く。

- [ユーザを新規作成] リンク – 図 3-33 に示すように、新規ユーザのグループへの追加とパスワードの指定を行うためのページを開く。
2. [ユーザを新規作成] リンクをクリックします。図 3-33 に示すような [ユーザの新規作成] ページが表示されます。

図 3-33 [ユーザの新規作成]



新しいユーザの名前とパスワードが作成されると、[新規ユーザ] セクションの下にユーザ名が表示されます。

3. 左側のメニュー カラムの最上部付近にある [グループポータル管理] リンクをクリックして、[グループポータル管理ホーム] ページに戻ります。

[ユーザグループ管理]

ユーザグループ管理では、グループポータルに関連付けられているユーザグループのプロパティを表示し編集することができます。

ユーザグループ管理について理解するには、以下のことを実行します。

1. [グループポータル管理ホーム] ページで、右カラムの [ユーザグループ管理] リンクをクリックします。図 3-34 に示すような [右記ユーザグループ管理ホーム] ページが表示されます。

図 3-34 [右記ユーザ グループ管理ホーム]



このページでは、ユーザグループのプロパティが表示され、そのプロパティの値を入力することができます。グループのプロパティを定義したい場合には、E-Business Control Center で行う必要があります。プロパティ定義の詳細については、E-Business Control Center のオンライン ヘルプを参照してください。


2. プロパティ値を設定するには、右カラムのリンクの1つをクリックします。

 図 3-35 に示すような [プロパティ値の編集] ページが開きます。

図 3-35 [プロパティ値の編集]



3. 左側のメニュー カラムの最上部付近にある [グループ ポータル管理] リンクをクリックして、[グループ ポータル管理ホーム] ページに戻ります。

[委託管理]

このカテゴリでは、以下のことを実行できます。

- 他の管理者に特権を委ね、それらの管理者がポータル ページのロック アンド フィールドの決定、ポートレットの制御、ユーザの管理、そしてユーザおよび管理者の資格の設定を行えるようにする。
- 新しい管理者を追加する。

委託管理 (delegated administration) について理解するには、以下のことを行います。

1. [グループ ポータル管理ホーム] ページで、右カラムの [グループ管理者の委託管理設定を編集] リンクをクリックします。図 3-36 に示すような [グループ管理者設定の編集] ページが開きます。

図 3-36 [グループ管理者設定の編集]



このページでは、委託設定の変更対象となる管理者を選択したり、新しい管理者を作成するページにアクセスすることができます。アルファベットボタンを利用すれば、指定した文字で始まるユーザ名のリストをすばやく表示することができます。

2. [グループ管理者] リストで名前を選択してから、[ユーザを選択] ボタンをクリックします。図 3-37 に示すような、[右記グループ管理者設定の編集] ページが開きます。

図 3-37 [右記グループ管理者設定の編集]— 管理を委託する



このページでは、先に選択した管理者の特権を指定したり、その管理者を削除することができます。[ポータルページ管理]または[ポータルレット管理]の特権を付与する場合には、その資格に関わるチェックボックスを選択することで、ページやポータルレットでの資格の設定を委託することもできます。

- [管理可能] – グループ管理者がこのタスク領域を管理できる。たとえば、[ユーザ管理]がチェックされた場合、管理者はグループポータルの訪問者を表示、編集、削除できる。
- [委託可能] – グループ管理者が他のグループ管理者に管理の権利を委託できる。
- [資格設定可能] – グループ管理者がページとポータルレットでの資格を設定できる。

3. [戻る] ボタンをクリックして [グループ管理者設定の編集] ウィンドウに戻ります。

[管理者を新規作成] ボタンをクリックすれば、図 3-36 に示したのと同様のページが開き、そこで既存管理者のリストから選択することができます。管理者の特権を設定したい人物がリストにない場合には、まずその人物を管理者に任命する必要があります。ユーザを管理者に任命する方法の詳細については、<http://edocs.bea.com/wlp/docs70/admin/usrgpr.htm#1189735> にある『管理者ガイド』の「管理ユーザの作成」を参照してください。

4. 左側のメニュー カラムの最上部付近にある [グループ ポータル管理] リンクをクリックして、[グループ ポータル管理ホーム] ページに戻ります。

この後の展開

以上で、ポータル サンプル - 訪問者および管理者ツアーを終わります。
WebLogic Portal の管理機能の詳細については、
<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/index.htm> の『管理者ガイド』を参照してください。

WebLogic Portal 開発の詳細については、
<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/dev/index.htm> の『開発者ガイド』を参照してください。

ポートレットの機能については、
<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/samptour/index.htm> の『ポータル サンプル - ポートレット機能』を参照してください。

索引

C

[change password] ボタン 2-4
[customize my portal] ボタン 2-4

L

[login] ボタン 2-4
[logout] ボタン 2-4

I

委託管理, 定義 3-38
移動可能ポートレット, 定義 3-26

ク

グループ スキン 3-30
グループ ポータル属性 3-32

コ

[このページのポートレットの選択と順序設定]
] 2-11

サ

最小化可能ポートレット, 定義 3-26
最大化可能ポートレット, 定義 3-26
作成済みのスキン 2-4
サポート, テクニカル V
サンプル ポータル
 ポートレット 2-2
サンプル ポータル ツアー, 開始 1-1

シ

資格, 定義 3-22

テ

デフォルトでは最小化されるポートレット, 定義 3-26

ヒ

必須ページ, 定義 3-18, 3-21
必須ポートレット, 定義 3-26
表示されるページ 2-7
表示されるページ名
 表示名 3-18, 3-21
表示されるポートレット 2-11
表示されるポートレット名 3-26
表示対象ページ, 定義 3-18, 3-21
表示対象ポートレット, 定義 3-26

ヘ

ページ
 訪問者が名前を編集可能 3-18, 3-21
ページのレイアウト 2-9

ホ

ポータル
 委託管理 3-4
 ツール 3-1
ポータル管理機能 3-1
[ポータル管理ホーム] ページ 3-3
ポートレット
 定義 2-13
 表示される名前 3-26
ポートレットの編集 2-14
ポートレット名での画像の使用
 画像の使用 3-18, 3-21

ユ

ユーザグループ 3-31
ユーザ管理 3-35

ユーザグループ管理, 定義 3-36

リ

利用可能ページ, 定義 3-18, 3-21

利用可能ポートレット, 定義 3-26

レ

レイアウトのカスタマイズ 2-7